

バスケによる市民協働のまちづくり包括連携協定締結式 資料



「バスケによる市民協働のまちづくり包括連携協定」を締結

長岡市は、アオーレ長岡の建設前から、新潟アルビレックスBB（以下、アルビBB）のbjリーグ公式戦やアルビBBスクール等への支援を行い、バスケットボールの魅力を発信してきました。

アルビBBは、昨年8月29日に、アオーレ長岡をホームアリーナとして待望のBリーグ1部参入が決定しました。これまでも選手や子どもたちとの交流やまちなか連携など、Bリーグ開幕に向けた様々な取り組みを進めており、今後もチーム、企業、市民や行政が一丸となったオール長岡体制で、さらなる気運醸成を図っていききたいと考えています。

そこで、これまでの市とアルビBBの運営会社である新潟プロバスケットボールとの連携の実績を踏まえ、連携内容のさらなる広がりと発展を目指し、このたび、チームの活動をバックアップしてきた長岡地区NIIGATA ALBIREXバスケットボール後援会と、本市スポーツ振興の重要な担い手である長岡市スポーツ協会を含めた4者による包括連携協定を締結する運びとなったものです。

今後は、市民にとってバスケがより身近に感じられる取り組みの実施や、子どもたちの競技力向上と青少年育成、さらには2020年東京五輪の事前合宿誘致など、幅広く相互に連携を図ることでバスケによる市民協働のまちづくりを実現してまいります。

1 協定の趣旨

子どもたちとの交流、まちなか連携や市民にとってバスケがより身近に感じてもらえる取り組みの実施など、4者が相互に連携・協力することで、バスケによる市民協働のまちづくりに寄与することを目的とした包括支援協定を締結します。

2 協定締結者

- ・長岡市
- ・株式会社新潟プロバスケットボール
- ・長岡地区NIIGATA ALBIREXバスケットボール後援会
- ・公益財団法人長岡市スポーツ協会

3 協定締結日

平成28年9月13日（火）

4 連携協定の主な内容

- ◆ チーム・市民・企業・行政が一体となったバスケットによる地域密着型モデルの形成
- ◆ バスケの普及や情報発信と、子どもたちの競技力の向上や青少年育成
- ◆ 市民にとってバスケットが、より身近に感じられる取り組みの実施
- ◆ 国際試合の誘致、各種大会の開催やトップチーム等の合宿の誘致
- ◆ 各主催事業に対する相互の協力

5 バスケを核とした「市民協働」のまちづくりの主な取り組み

別紙のとおり

<参 考> NIIGATA ALBIREX バスケットボール後援会について

○組織・規模

- ・ 県内に、32 地区の地区後援会組織を設置（新潟県下全域）
- ・ 会員総数： アルビレックス BB 個人会員：1612 名（1626 口） 法人会員：185 社（211 口）
アルビレックス BB ラビッツ 個人会員：537 名（539 口） 法人会員：32 社（36 口）
※27 年度実績

○主な活動内容

新潟アルビレックス BB・新潟アルビレックス BB ラビッツへの財政支援・地域への更なるバスケットボールの普及活動、バスケットボールを通じた青少年の健全な育成の為の活動

○長岡地区について

- ・ 会員数 アルビレックス BB 個人会員：145 名（148 口） 法人会員：33 社（34 口）
アルビレックス BB ラビッツ 個人会員：16 名（539 口） 法人会員：1 社（1 口）
- ・ 今後、新たな会員や参加企業の確保など、地域レベルでのバスケットの裾野拡大を図っていきます。

問い合わせ：長岡市市民協働推進部アオーレ交流課 電話 0258-39-2288
株式会社新潟プロバスケットボール 電話 0258-86-5700
長岡地区 NIIGATA ALBIREX バスケットボール後援会 電話 025-201-5530
公益財団法人長岡市スポーツ協会 電話 0258-34-2130